

# でわもい

2020  
No.48

出羽庄内森林組合  
広報



羽黒高等学校・森林保全活動

## 目次 -CONTENTS-

- ② 第24回通常総代会
- ③ 総括事項・損益計算書
- ④ 運営の基本方針
- ⑤ 庄内地域農林水産業若者賞  
労働安全大会  
羽黒高等学校・森林保全活動
- ⑥ 庄内海岸林の松くい虫被害の拡大  
森林経営計画の策定及び事業の実施状況
- ⑦ 鶴岡市林業振興協議会の開催  
地域座談会・アンケート報告  
お知らせ(名義変更・賦課金・お盆休み・伐採・山林異動届他)
- ⑧ 木材市況  
新採従業員の紹介  
おらほの林業人

**JForest**  
出羽庄内森林組合

本所	〒999-7542	鶴岡市水沢字山ノ腰31-1	TEL.0235-35-2515	FAX.0235-35-2556
立川出張所	〒999-6601	庄内町狩川字堅田20-2	TEL.0234-56-2020	FAX.0234-56-2045
朝日出張所	〒997-0404	鶴岡市下名川字落合3	TEL.0235-53-2155	FAX.0235-53-2661
製材工場	〒997-0403	鶴岡市越中山字立岩12-1	TEL.0235-53-2595	FAX.0235-53-2595

## 第24回

# 通常総代会



5月28日に出羽庄内国際村において第24回通常総代会を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染症拡大の防止を図るため総代の方々に書面決議をお願いしたことから、書面決議者が234名、出席者が5名という異例の開催となりました。山本組合長の挨拶では令和元年度の事業が赤字決算となったことやその改善策、また、新年度の運営基本方針について説明がありました。来賓者は5名で、代表して鶴岡市長よりご祝辞を頂戴しました。

議長は、朝日地区の亀井龍夫氏を選任し、上程された12議案について審議を行いました。全議案とも原案のとおり承認されました。決議された議案は次のとおりです。

### 第二十四回通常総代会提出議案

#### 第一号議案

令和元年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書、損失処理案、注記表及び附属明細書承認の件  
賛成二三五名 反対三名

#### 第二号議案

令和二年度事業計画設定の件  
賛成二二七名 反対一名

#### 第三号議案

令和二年度借入金最高限度決定の件  
賛成二二七名 反対一名

#### 第四号議案

令和二年度一組合員に対する貸付金最高限度決定の件  
賛成二二八名

#### 第五号議案

令和二年度一組合員に対する債務保証最高限度並びに組合員債務保障最高限度決定の件  
賛成二二八名

#### 第六号議案

令和二年度貸付金の利率最高限度決定の件  
賛成二二七名 反対一名

#### 第七号議案

令和二年度余裕金預入先決定の件  
賛成二二八名

### 第八号議案

令和二年度一般賦課金の徴収方法並びに徴収期日決定の件  
賛成二二七名 反対一名

### 第九号議案

令和二年度認証各種証明料及び手数料決定の件  
賛成二二八名

### 第一〇号議案

令和二年度役員報酬決定の件  
賛成二三四名 反対四名

### 第一一号議案

定款及び附属書規程、規約一部改正の件  
賛成二二八名

### 第一二号議案

役員退任慰労金支給の件  
賛成二二七名 反対一名

### 附帯決議事項

本日の決議事項中権利義務に関し、ない軽微な事項の修正、誤算、誤字の修正及び法令その他に基づいて行政庁の指示による場合は、必要な字句の修正をすることを理事会に一任するものとする。

# 総括

昨年は、平成から令和と新たな時代の幕開けとなりましたが、国内においては八月の九州北部豪雨、九月から十月にかけての台風十五号、十九号と相次ぐ自然災害の発生により千葉県をはじめ全国的に河川の増水等により多くの被害が発生しました。庄内においても六月に山形県沖を震源とする地震が発生し、新潟県境付近に被害が集中しました。

経済情勢については、通商問題をめぐる緊張や中国経済の先行き、英国のEU離脱問題、また、消費税の引き上げ、さらには、今年に入ってから新型コロナウイルスの拡大により経済活動は大きな落ち込みを見せています。

一方で、森林・林業をめぐっては、五月に新たな「森林経営管理法」が成立し、森林環境譲与税を財源とする新たな森林管理システムがスタートしました。管内の市町においても新たな制度に取組むための説明会や意向調査が行われています。また、県内においては、県が提唱する「やまがた森林ノミクス」が推進される中、十一月には「第五回全国森林ノミクスサミット」が山形市内で開催され、当組合からも女性職員がパネラーとして参加し、組合の雇用状況、特に、若者の定着状況や女性の活躍について現状を報告しています。

こうした中、組合では平成二十七年に策定した第一次中期経営計画に基づき、各部門の事業に鋭意取り組まれました。はじめに、森林整備事業については、鶴岡矢引地区他四団地で施業の集約化を行い、搬出間伐はじめ九五ヘクタールの森林施業を実施しています。また、国、県等が発注する除伐や搬出間伐事業等一九三ヘクタールを実施するとともに、関連する森林作業道一五、四八九メートルを開設しています。利用事業については、関係機関が発注する海岸砂防林の松くい虫防除事業を受注し、伐倒駆除、薬剤散布などを実施しています。さらに、朝日上田沢地区、櫛引松根地区で新たな森林経営計画の策定に取組みました。

次に、販売及び林産事業については、森林経営計画に基づいて民有林から搬出された間伐材や国有林から出材された一般用材、ラミナ材、バイオマス等、計二五、六〇〇m<sup>3</sup>を、庄内木材流通センターや管内外の製材工場、集成材工場、バイオマス発電所等へ出荷しています。

さらに、指導事業として毎年開催の「組合員一日研修」については、白鷹町の「文化交流センター」や「山峡紅の里」を視察し、多くの組合員から同町における緑の循環システムを研修いただきました。これらについては、一月下旬から三月上旬にかけて

# 事項

開催した地域座談会でも説明してきたところで、本年度の最終的な決算額は、事業総収益五五三、七九〇千円計画対比九九・七％、総費用五五三、二五五千円計画対比一一三・六％、事業総利益一八、五三四千円計画対比一一一・〇％と、コスト高と利益率の低下が大きく、対前年比で事業費は四七、九一九千円減少、収益で一〇、三二四七千円の減少となり、誠に遺憾ながら当期剰余金がマイナスイス四八、七九千円と大きく落ち込むこととなってしまいました。

今回の赤字の主な原因については、販売部門の林産事業において、特に平成二十六年から二十八年にかけて購入した国有林の材質が思いのほか悪く、林産品売上が大きく落ち込んでしまったこと、また、それらの伐採搬出は、そのほとんどが外部への請負となっていますが、それらの収支の検証を十分に行わずにこれまで事業を継続してきたことにあります。さらに、森林整備部門において、春先に関係機関が発注する松くい虫防除事業に労力を割かれ、所有する高性能林業機械の有効活用が図られていないことも収益を低下させる要因となっています。

今回の結果を受けて、組合としてはコンプライアンス委員会を開催し、このような事態となった原因について関係者から聴き取り調査を行い、懲戒処分の基準に関する規程に基づき理事会において厳正な処分を行っています。

なお、今後の対応策としては、林産事業においては、現地の事前調査や情報収集を十分に行って採算のとれる事業計画を立てるとともに、事業完了後にその実績を検証すること。また、外部へ請負させる場合は、木材販売価格とコストを比較し採算のとれる条件のもとに契約を締結すること。また、森林整備部門においては、所有する高性能林業機械の年間稼働計画を見直し、その有効利用を徹底するとともに、機械リース等の支援制度を有効活用してコストの削減に努めるなど、健全経営に向けた一層の努力を積み重ねていきたいと考えています。これまでご指導、ご支援を頂きました組合員並びに関係各位に対しましては、衷心より謝意とお詫びを申し上げますとともに、損失処理につきましてご理解をお願い申し上げます。

今回の厳しい結果を教訓として職員の経営意欲への意識改革を進め、組合の経営理念のもと組織の充実・強化を図り、事業の拡大及び収益性の向上による経営の安定化に努めて参りますので、組合員はじめ関係各位の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

## 令和元年度損益計算書 (平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

単位：円

科 目	小 計	合 計
<b>I 事業総損益</b>		
1. 収益	553,790,366	
2. 費用	535,256,025	
事業総利益		18,534,341
<b>II 事業管理費</b>		
1. 人件費	52,162,028	
2. 旅費・交通費	2,900,921	
3. 事務費	2,590,892	
4. 業務費	1,457,438	
5. 諸税負担金	1,866,031	
6. 施設費	6,528,471	
7. 雑費	2,397,615	
事業管理費計		69,903,396
事業利益		△ 51,369,055
<b>III 事業外損益</b>		
1. 事業外収益	2,097,325	
2. 事業外費用	40,000	
事業外損益		2,057,325
經常利益		△ 49,311,730

科 目	小 計	合 計
<b>IV 特別損益</b>		
1. 特別利益	1,293,242	
2. 特別損失	318,444	
特別損益		974,798
税引前当期利益		△ 48,336,932
法人税、住民税及び事業税		463,000
当期剰余金		△ 48,799,932
前期繰越剰余金		1,037,927
当期末処分剰余金		△ 47,762,005

### 【部門別損益】

部 門	収 益	費 用	事業総利益
指 導	20,576,100	19,496,964	1,079,136
販 売	208,895,609	214,183,829	△ 5,288,220
加 工	10,281,586	12,299,849	△ 2,018,263
森 林 整 備	314,037,071	289,275,383	24,761,688
計	553,790,366	535,256,025	18,534,341

単位：円

## 貸借対照表 (令和2年3月31日現在)

科 目	小 計	合 計
<b>資産の部</b>		
流動資産		230,671,407
固定資産		
有形固定資産	24,081,399	
無形固定資産	146,863	
外部出資	48,406,740	
その他固定資産	139,810	
資 産 合 計		303,446,219

科 目	小 計	合 計
<b>負債の部</b>		
流動負債		66,162,937
固定負債		
退職給付引当金	22,159,536	
役員退任慰勞引当金	1,856,249	
24,015,785		
<b>純資産の部</b>		
出資金	152,078,100	
利益剰余金	55,439,853	
資本準備金	5,749,544	
213,267,497		
<b>負債及び純資産合計</b>		303,446,219

## 運営の基本方針

今期は、昨期の厳しい決算結果を教訓として森林組合の目的を念頭に新たに国が策定した「森林経営管理法」に基づく制度を十分活用し、組合員のための森林整備に関する事業を中心しながら、これまで連携してきた官公署等の事業や現在直面している松くい虫等森林病害虫対策を積極的に進めて参ります。

具体的には、森林整備部門においては、森林経営計画の新規作成及び既計画地における森林施業を進めるとともに関係機関からの最新情報の収集に努め組合員へ有利な補助事業を提供します。また、所有する高性能林業機械の年間稼働日数を増やすとともにリース等の支援制度を活用し事業コストの低減に努めたいと考えています。

また、販売部門の内、林産事業については現地調査、情報収集を十分に行うとともに施業の集約や路網整備を図り、高性能林業機械を活用した低コスト生産を進めると同時に、系統や業界等連携し適切な市場を把握し適正販売に努めます。

さらに、加工部門においては、木造公共施設の建設等、地域材の利用促進を図るとともに「つるお

か住宅活性化ネットワーク」等各種団体と連携し事業の拡大に努めていきます。

今年度は平成二十七年度に策定した「第一次・中期経営計画」並びに系統運動として策定した「森林・林業・山村未来創造運動」の最終年度となります。これまでの各部門毎の実績を検証するとともに次期計画等の作成に向け検討作業を進めていきます。

また、鶴岡市、庄内町が行う新たな「森林経営管理制度」の取組みの促進に向けて登録を受けた「意欲と能力のある林業経営者」として荒廃森林の解消などに積極的に協力していきたいと考えています。

今年度は、組合にとってマイナスイメージからという厳しいスタートの年となります。また、国内外においては新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し今後の先行きが不透明な状況ですが、職員一同、英知を結集して各部門の取組みを進めて参りますので、関係機関団体のご支援・ご指導並びに組合員各位のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

## 指導部門

一、ホームページ及び広報の配布等により広く情報を提供する

とともに、座談会や研修会を開催し山林への意識拡大を図る。

二、組合員の一日研修視察を実施し、組合員の交流を図るとともに見聞を広める。

三、森林巡視活動と路網点検活動を行い、荒廃森林の解消に努める。

四、森林経営計画を樹立し、提案型集約化施業の推進を図る。

五、役職員、技術作業員の資質向上及び労働安全・コンプライアンス意識を高めるため、研修会、講習会等へ積極的に参加する。

六、関係行政機関が実施する新たな「森林経営管理制度」の取組みへ協力する。

七、組合員のためのチェーンソー等の研修会や相談会の開催

## 販売部門

一、林産事業については、現地調査、情報収集を十分に行い採算に見合う事業を行う。

二、施業の集約や路網整備を図り、高性能林業機械を活用した低コスト生産に努める。

三、系統や業界等と連携し、適格な市場を把握し適正販売に努める。

四、各種製材工場等への木材供給を行い、更なる地域材の利用

拡大に努める。  
五、従業員の技術向上を図り、安全作業、低コスト作業に努める。

## 加工部門

一、木造公共施設の建設等、地域材の有効活用を推進する。

二、建設等公共事業へ積極的に参入し、地域材の消費拡大を図る。

三、「つるおか住宅活性化ネットワーク」等、各団体との連携を図り、事業拡大に努める。

## 森林整備部門

一、関係機関団体等と連携し、各種補助事業を取り入れて森林整備を推進する。

二、高性能林業機械等の年間稼働率の向上を図り、コスト削減・安全作業に努める。

三、高性能林業機械のリース等の支援制度を活用しコストの低減に努める。

四、伐採跡地の再造林の推進に努める。

五、関係機関団体と連携し、松くい虫等森林病害虫防除に努め、被害拡大を防ぐ。

六、購買事業は、組合員のニーズに努め、迅速な対応に努める。

七、新規事業開拓に努め、各事業の拡大を図る。

## 労働安全大会の開催

6月19日、恒例の‘労働安全大会’を開催しました。当日は、午前中に高坂青龍寺地内の集約化間伐の現地研修と林業における労働安全衛生について林業・木材製造業労働災害防止協会山形県支部の藤井博喜氏より講義を受けました。午後からは、金峯神社で安全祈願の御祈禱後、羽越木材協同組合鶴岡工場及び鶴岡バイオマス発電所を視察研修しました。

これからも‘現場の安全を第一’に心がけて作業していきますので、組合員の皆様の応援よろしくお願い申し上げます。



労働安全衛生に関する講義



羽越木材協同組合鶴岡工場にて

## 羽黒高等学校・森林保全活動

7月7日、羽黒高等学校3年生326名による第2回の森林保全活動が行われました。今回は昨年植付けたスギの下刈りと植林を計画しましたが、下刈りは雨天のため取止めました。庄内総合支庁森づくり推進室による事前学習の後、現地に移動しクラス毎に分かれてスギの植林を行いました。現地スタッフの指導のもと無事に340本の苗を植付けましたが、元気に育ってくれることを願っています。(やまがた緑環境税事業)



クラス毎の植林活動

## 庄内地域農林水産業若者賞の受賞

令和元年度の「庄内地域農林水産業若者賞」の授賞式が3月6日に庄内総合支庁で行われ、3個人が受賞しました。当組合からは職員の渋谷みどりさんが森林組合で働く若手職員として表彰されました。渋谷さんは組合に平成18年4月に入り、25年には県内で初めて女性の森林施業プランナーとして資格を取得し管内の森林経営計画の策定など、組合事業に鋭意取り組んでいます。



右側が渋谷みどりさん

# 庄内海岸林の松くい虫被害の現状と防除対策について

庄内管内の松くい虫被害量は、約2万2千㎡(本数で約5万3千本)で、前年対比103%と被害は微増傾向にあります。特に、鶴岡管内では高速道路沿いや被害対策区域に近接した私有地で松枯れが多く発見されています。被害対策区域では薬剤散布等の予防措置と被害木の伐倒・破砕による駆除を行っています。組合では関係機関から委託を受けて防除事業を行っていますが、現場作業にあたっては組合員の皆様のご理解とご協力をお願いします。



チップパーによる粉砕処理



散布機による薬剤防除

## 森林経営計画の策定及び事業の実施状況について

平成30年度に策定した森林経営計画（鶴岡管内1地区、庄内町管内2地区）が新たに昨年度からの計画期間で認定を受けています。また、令和1年度から策定作業を行っている上田沢団地、松根団地についても、今年度の認定に向け計画作成の作業を行っております。

また、昨年度は既存計画に基づいて矢引外4地区で約72haの搬出間伐事業を実施しました。今年度も引き続き森林整備を実施していきますので、組合員の皆様のご協力をお願いします。

### 森林経営計画策定団地

策定年度	団地名	計画面積(ha)	計画期間
H30	越中山	206.78	H31.4~R6.3
H30	肝煎	68.16	H31.4~R6.3
H30	狩川小堤	69.47	R1.9~R6.8
	計	344.41	
R1	上田沢	56.38	R2認定予定
R1	松根	約65	R2認定予定

### 搬出間伐事業実施地区

地区	人数	区域面積(ha)	搬出材積(㎡)
矢引	17	10.07	359
添川	25	12.07	497
狩川	24	11.63	1,402
高坂	14	13.59	655
添津	53	24.85	1,617
計	133	71.94	4,530

### ☆森林整備の補助金を活用する際は、以下にご注意願います。

- ① 補助金を活用して整備した箇所は、原則森林以外への転用をしないこと
- ② 補助事業完了の翌年度から5年以内(やまがた緑環境税事業は20年以内)に、当該区域の皆伐(立木竹の全面伐採除去)・転用を行う場合は、あらかじめ県(市町)へ届出し承認を得る必要があるほか、補助金返還の義務が生じること

当組合で整備した森林において、皆伐・林地開発(風車建設等)等の話がある場合には、事前に森林組合までご相談ください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

# ‘鶴岡市林業振興協議会’が開催されました

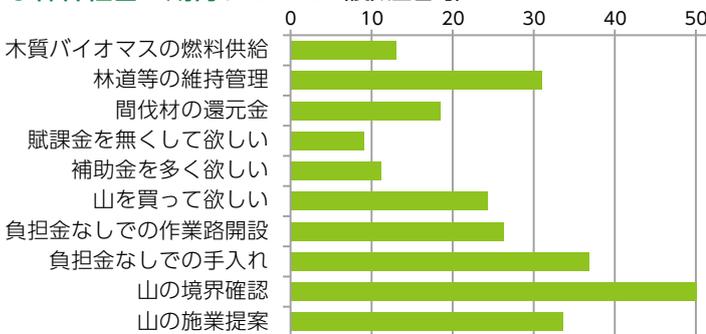
今年度第1回目の鶴岡市林業振興協議会が5月29日出羽庄内国際村で開催され組合長が委員として出席しました。今回は、森林環境譲与税の用途について市から経過報告と今後の計画が提案されました。交付金が今年度から増額され最大となる時期が令和6年度で1億円となること。その用途は、リモートセンシング（森林航空測量）はじめ、森林経営管理法の円滑な推進、路網整備と適正な維持管理、「切って・使って・植える」を促進する森林整備などに使われます。より具体的には、リモートセンシング調査による境界明確化や森林整備のための林道整備や間伐、再造林、下刈りへの支援拡充、さらに、松くい虫被害木の駆除強化などが提案され、委員による審議の結果、原案どおり承認されました。



## 地域座談会におけるアンケート調査結果(抜粋)

組合では2月25日から3月2日にかけて地域座談会を開催しました。参加した144名の組合員からアンケートを頂戴していますので、その一部を紹介します。なお、調査結果については、今後とも組合運営に活かしていきたいと考えていますので、組合員各位のご理解、ご協力をお願いいたします。

### ○森林組合に期待すること (複数回答可)



### ○その他意見・要望等 (主なもの)

- ・軽トラ林業に対応して欲しい。
- ・組合能力を向上して組合員の山を整備して欲しい。
- ・所有山林の位置確認、境界を知りたい。
- ・価格は問わないので皆伐して利益を出したい。
- ・森林経営計画策定後の実施状況を教えて欲しい。
- ・6千万円の赤字原因と今後の改善策を提示願う。
- ・赤字に対する組合員へのしわ寄せが無いよう願う。
- ・60年生以上の大径木の適正な利用を考えて欲しい。
- ・山の管理を森林組合で行って欲しい。

## お知らせ

### 一、組合員名義、山林面積等の変更届について

相続や売買により山林の所有者や所有面積に異動があった場合は、その組合員からの変更手続きが必要となります。届出用紙は、本・出張所にあります。また、組合のホームページからもダウンロードできるようになりましたので、必要事項を記入して提出して下さい。なお、この手続きによる情報は、個人情報保護法により他に流れることはありません。

### 二、賦課金の納付には、便利な口座振替をお勧めいたします。

利用できる金融機関

- ・鶴岡市農協本支所
- ・庄内たがわ農協各支所
- ・山形銀行各支店

手続き用紙は当組合本・出張所と農協各支所にありますのでご利用ください。今年度の口座振替日は7月31日(金)になります。

### 三、お盆休みのについて

8月13日～17日、お盆休みの為、事務所休業になります。

### 四、森林の伐採には届出が必要です。

自分の山であっても、森林を伐採するときは、事前に届出をすることが、法律で義務付けられています。伐採届は、伐採を始める90日～30日前までに森林がある市町の役場に森林所有者又は伐採業者が提出してください。

# 令和2年度 山形県森連木材流通センター 5月市況

単位 円/m<sup>3</sup>

天 童									庄 内						
市日	樹種	長級(m)	径級(cm)	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考	市日	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考	
第 1251 回  5 月 11 日	スギ	4.00	36上	-	13,680	9,000	●	選木	第 263 回  5 月 18 日	51,120	12,240	9,000	△	選木	
	〃	〃	30上							13,680	12,240	-			
	〃	〃	20上	12,240	11,520	9,000	●			12,528	11,520	9,000	○		
	〃	〃	14~18							10,800	9,720	-	○		
	〃	〃	13下												
	〃	3.65	20上							12,348	11,880	-	○		
	〃	〃	14~18							-	10,800	-	○		
	〃	3.00	20上	-	11,520	-	○			11,916	11,520	-	○		
〃	〃	14~18						10,800	10,080	8,280	○				
概 要				販売量 118m <sup>3</sup> 買方 8人					販売量 632m <sup>3</sup> 買方 17人						
市日	樹種	長級(m)	径級(cm)	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考	市日	高値(円)	中値(円)	安値(円)	前回比	備考	
第 1252 回  5 月 26 日	スギ	4.00	36上	57,960	13,680	8,640	○	選木	第 回  月 日						
	〃	〃	30上												
	〃	〃	20上	13,680	11,520	-	○								
	〃	〃	14~18												
	〃	〃	13下												
	〃	3.65	20上												
	〃	〃	14~18												
	〃	3.00	20上	13,320	11,520	-	○								
〃	〃	14~18													
概 要				販売量 320m <sup>3</sup> 買方 14人					販売量 m <sup>3</sup> 買方 人						

△高 ○保合 ●安

## (市況概要)

### 天童共販所

5月26日に春季優良原木市を開催いたしました。コロナウイルスの関係から、当日の来訪数が少ない状況での開催となりました。

神社木や高齢級選木4.00m材については、良質木が揃い、比較的広く応札があり、買い込まれました。

半面、3.00m材を含めた一般材については、品質が良好な材にも関わらず、応札が極端に少なく、販売量が伸びなやむ状況でありました。

## (市況概要)

### 庄内共販所

春季優良原木市を開催しました。

福島県産の杉高樹齢の丸太が出品され完売しました。また、金山町産の杉6.00m材も出品され複数の応札がありました。

定尺では3.00m材や4.00m材の一般材に応札集中しました。全体的に価格は落ち着いていますが荷動きは静かで、虫を懸念してか当用買いの雰囲気でした。

## おらほの 林業人

Vol. 9

### 佐藤 孝

(鶴岡市上藤島)

50歳(林業歴 10年)



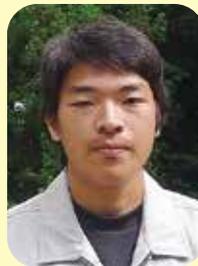
#### ●今後の目標

同じ伐倒作業でも立木の条件や周辺環境、天候等同じ条件の現場は1つありません。どのような条件でも自分の実力を発揮できる林業人になりたいです。

### 八幡

勇太郎

(鶴岡市大広)



私は小さい頃から山に接して育ってきて森林整備に興味を持ち、この組合に入りました。これから頑張って山仕事をしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



### 土田

拓摩

(酒田市蔵小路)

自然を相手にした仕事なので細心の注意を払いながら体調を整え、毎日の作業に取組みたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 新採従業員の紹介